

あなたは

平成14年7月14日

千代田区の

青少年委員を

ご存じですか!!

■千代田区立児童・家庭支援センター ■千代田区青少年委員会

学校代表

お茶の水小学校教諭



南島 隆

今川中学校教諭



久保田 浩

お茶の水小学校



大塚 幸子

練成中学校



久保田富三郎

昌平小学校



金井 茂

お茶の水小学校



秋山 亘

一橋中学校



小山 千恵

昌平小学校



佐々木 達裕

今川中学校



加部 佳子

富士見小学校



中川 典子

富士見小学校



八尾 規子

九段小学校



江川 雅子

九段小学校



菅沼 進一

九段中学校



藤代 興里

千代田区

青少年委員紹介

任期 平成14年4月1日

～平成16年3月31日

和泉小学校



角谷 宏次

和泉小学校



宮澤 藤男

麹町小学校



菱田 郁子

千代田小学校



中柴 光義

千代田小学校



藤原 晶子

番町小学校



津田 真知子

麹町小学校



渡邊 洋子

番町小学校



片岡 勝吾

麹町中学校



宮武 敦子

青少年団体の育成は地域の青少年委員にお気軽に相談ください。

平成
12・13年度

青少年委員一期を終えて

片岡 勝吾

あつというまに二年間が過ぎました。委員は小学校二名、中学校一名と限られた人数で活動をしています。受け持つ年齢層も幅広く委員個人で対応するには難しいと感じました。また、前期新しく委員に選出された方が全委員の半数近く、私も番町地区（番町小・麴町小・麴町中）では全員が新人で、全てが白紙の状態からの出発となり最初の一年間は手探りの状態で過ごしました。

委員会のメインの仕事は、夏休みのプール開放のお手伝いと成人式のお手伝いでしたが、昨年からはプール開放の当番がなくなり、がっかりしています。これから二年間学校と地域を結ぶパイプ役として仕事をしていきたいと思えます。

渡邊 洋子

青少年委員の役割とは何だろう？考えながらの二年間が、あつという間に過ぎてしまいました。小・中学校の行事等に参加することで、先生方や父兄の方、町会など地域の方々とお会いする機会も増え、コミュニケーションの中で私自身学ぶことがたくさんありました。これからも、人との出会いを大切にしつつ、子供たちのためのより良い環境作りのお手伝いが、少しでも出来るよう努力していきたいと思えます。

宮武 敦子

校長先生よりご推薦を頂き、子どもたちの為に少しでも役立つことが出来ればと、母校の麴町中学校のPTA副会長と青少年委員の

菱田 郁子

ふと、青少年委員をなぜ引き受けたのかなと思えます。前任者の「勉強になるから」の一言だったのかもしれない。生来、不勉強のせい或未だにこの「勉強」という言葉に弱いのです。お店番があったり、両親の介護があったりと、PTA活動もほとんどしていない私は、経験豊富で貫禄十分の委員の皆さんの中で踴っていたような気がします。青少年委員の曖昧模糊の立場も痛感しました。それでも、園長・小学校校長・中学校校長・区長との各懇談会や「成人のつどい」に関われたのは有意義でした。

また、色々な研修会に参加して子供達のことを真剣に考えている大人の集団（各区の青少年委員会）の存在も知ることができました。そして、学校の行事で元氣一杯の子供達に会えたり、成長著しい姿を目にして喜びを感じました。

二期目になりますが、これからも青少年を応援し、微力ながらお手伝いをしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

藤代 興里

一期目と同様、九段中学校の島川校長先生から依頼の連絡を頂き、再度青少年委員を務めることになりました。

千代田区立中学校では、今年度からの週五日制の完全実施に加え、来年度からの学区の廃止、更に四年後に実施が計画されている区立の中高一貫校の設立という、国・区・都という異なる組織での三つの変革が絡み合ってきています。

角谷 宏次

最近、携帯電話・メール・インターネット等の急速なITの発達で直接的に人と交わる機会が減り、地域社会での連携もめっきり少なくなりましたといわれています。

私自身が、子供が何か悪い事をしたら見知らぬ大人でも叱りつけてくれるような時代に育った人間ですので、特に寂しく思います。

しかし、この様な現状においても私達の学校や地域では、子供縁日・少年野球・ミニバスケット・お囃子・太鼓等々活動し、子供達との触れ合いがいろいろあります。未成年の犯罪が増えたといわれる昨今、この様に学校と地域の人達の交流を深めてこそ、地域活性化はもとより子供達の犯罪防止に大いに貢献しているのも事実です。私も青少年委員という立場から、微力ですが学校と地域社会を結ぶ「かけはし」役の一員になれば幸いです。皆様の温かいご指導を頂き、活動していきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

金井 茂

青少年委員の役割は、就任してみてもなんとなく分かったつもりでした。しかし、実際の活動となるとなかなか難しいと感じた二年間でした。と言いますのは、かなり抽象的な目標に対する具体的な活動が自分の頭の中で明確になっっていなかったからです。

ところが、会長をはじめ先輩委員の皆さんの真剣に取り組んでいる姿勢をみていて、だんだん分かってきたことがあります。

青少年委員は、会として個人として実践できることはそれほど多くないかもしれませんが、常に真面目に努力した過程から何かしらの結果を求められています。地域の子供たちを見守る目線として、結果も大事ですが過程はもっと大切なことを、機会あるごとに知らせてあげたいと思つたように思います。

掛け持ちではありませんでしたが、迷うこともなくお引き受け致しました。改めて一期目を振り返って見ると、お引き受けしたからには何かしなければという気負いばかりが先にたち、具体的な活動になかなか結びつかずに終わってしまったと反省しています。四月からはPTAの立場を離れたことで、地域の普通のおばさんとして子どもたちを見守っているという、自分自身の心のゆとりが出来ました。亀の甲より年の功といいますが、ベテランの委員の皆さんと毎月お会いする青少年委員会の定例会で学んだことは、ゆとりを持って物事に当たるという行動様式で、これが私にとって最大の収穫でした。二期目も始まったばかりですが、今後ともよろしくお願いいたします。

小山 千恵

毎月の定例会に参加し、青少年委員には様々な行事があることに驚きました。都連合、中央ブロック研修大会・管外研修会、区立小中学校校長との懇談会、成人の日のつどい、学校運営連絡会等に参加しました。

二年間の行事の中で最も印象に残ったのは、中央ブロック研修大会での講演と実習でした。講演の中では、振り返りの心を知り、加えて実習では課題を与えられ、何もないところから体を動かし自己表現する運動をしました。四時間という長い時間の中で、我を忘れて一生懸命に取り組んでいる自分がありました。何不自由のない便利な世の中で忘れかけていた原点や心を思い出すことができ、非常に貴重な時間であったと実感しています。

行事への参加を通して、各委員の方々と交流から私の知らない世界が少しずつ開けていきました。この経験を生かし、微力ながら地域に貢献していけるよう努力していきたいと思えます。

この内、都に関する内容は区の青少年委員には充分伝わらないため、先日都庁まで行ってきました。頂いた資料に、千代田区の中高一貫校と全く同時期に都立の中高一貫校の創立計画があることは、大きな驚きでした。加えて、その直後に都立中高一貫校を更に九校も設立する計画が発表され、これはもう考えを組み直すべきではと感じているところです。いずれにしても、都立と区立の中高一貫校は、どこが同じでどこが違うのかという大切なことを判断し、すべてに関わり込みを迫られている九段中学校が「内容を理解したうえで、最善の展開を計る。」ことは簡単ではありません。避けるべきは、「知らなかった。こんなはずではなかった。」と後で感じることです。

親子で九段中・九段高と御世話になった深い思い入れを持つ一人として、学校とは勿論PTAや同窓会とも連携しながら、二期目のこの一番の課題に対応したいと考えています。

藤原 晶子

「成人の日のつどい」に、子供が実行委員として参加し、その時初めて青少年委員の存在を知りました。そんな私に委員として推薦の電話があり、行事の内容もわからぬまま引き受けてしまい、一年二年が過ぎました。

振り返ってみての感想は、青少年委員としての活動以外に、委員としてコミュニケーション、学校運営委員会、校庭開放委員会と次々に仕事が増え、これは推薦を受けた時の話とはずいぶん違うなあと思いました。しかし、久しく離れていた現場の声・様子が良くわかり、思わぬ副産物をいただいて良い経験が出来たとも思います。

第二期目に入っても、また仕事の量が増してしまいましたが、新しい経験を通して一層の輪の広がりを期待しています。

良い顧客が良い芸術家を育て、良い選挙民が良い政治を育てると言いますが、私も学校や子どもたちの良いサポーターとしてありたいと思えます。

青少年委員を

よろしくお願いいたします。

くごみ拾いボランティアに参加して

会長 久保田 富三郎

六月の一斉清掃の日、地元の中学校の奉仕活動で多くの生徒の皆さんと秋葉原電気街のごみ拾いのボランティアに参加してみました。手に手にごみ袋、清掃用具を持ち、町会から借りたりヤカーを引く者、街路樹の根もとに散らかるタバコの吸い殻を一つも残すまいと素手でつまんで集める子もいました。

地域の方も自分の家の前を掃除する手を休めて、子供達に励ましの声をかけてくれました。タバコの吸い殻をはじめ様々なごみが集まり、人々にマナーを呼びかけるだけではどうにもならない所まで来てしまっています。千代田区の「ポイ捨て」「歩行喫煙」条例の制定もやむを得ないと感じた朝でした。

私たち青少年委員会は、今年からスタートした「こども園」をテーマに研修を始めました。新しい試みにエールを送るとともに、現場での子供の様子、保護者や先生方の声を聞き、色々な角度から考えてみたいと思っております。今後とも青少年委員会への御助言等によるしくお願いいたします。

青少年委員 一期を終えて

片岡 勝吾

あつという間に二年間が過ぎました。委員は小学校二名、中学校一名と限られた人数で活動をしています。受け持つ年齢層も幅広く委員個人で対応するには難しいと感じました。また、前期新しく委員に選出された方が全委員の半数近く、私も番町地区（番町小・麹町小・麹町中）では全員が新人で、全てが白紙の状態からの出発となり最初の一年間は手探りの状態で過ごしました。

委員会のメインの仕事は、夏休みのプール開放のお手伝いと成人式のお手伝いでしたが、昨年からはプール開放の当番がなくなり、がっかりしています。これから二年間学校と地域を結ぶパイプ役として仕事をしていきたいと思えます。

渡邊 洋子

青少年委員の役割とは何だろうか？考えながらの二年間が、あつという間に過ぎてしまいました。小・中学校の行事等に参加することで、先生方や父兄の方、町会など地域の方々とお会いする機会も増え、コミュニケーションの中で私自身学ぶことがたくさんありました。これからも、人との出会いを大切にしつつ、子供たちのためのより良い環境作りのお手伝いが、少しでも出来るよう努力していきたいと思えます。

宮武 敦子

校長先生よりご推薦を頂き、子どもたちの為に少しでも役立つことが出来ればと、母校の麹町中学校のPTA副会長と青少年委員の掛け持ちではありましたが、迷うこともなくお引き受け致しました。改めて一期目を振り返って見ると、お引き受けしたからには何かしなければという気負いばかりが先にたち、具体的な活動になかなか結びつかずに終わってしまったと反省しています。四月からはPTAの立場を離れたことで、地域の普通のおばさんとして子どもたちを見守っているという、自分自身の心のゆとりが出来ました。亀の甲より年の功といいますが、ベテランの委員の皆さんと毎月お会いする青少年委員会の定例会で学んだことは、ゆとりを持って物事に当たると言う行動様式で、これが私にとって最大の収穫でした。二期目も始まったばかりですが、今後ともよろしく願っています。

小山 千恵

毎月の定例会に参加し、青少年委員には様々な行事があることに驚きました。都連合、中央ブロック研修大会・管外研修会、区立小中学校校長との懇談会、成人の日のつどい、学校運営連絡会等に参加しました。

二年間の行事の中で最も印象に残ったのは、中央ブロック研修大会での講演と実習でした。講演の中では、振り返りの心を知り、加えて実習では課題を与えられ、何も無いところから体を動かして自己表現する運動をしました。四時間という長い時間の中で、我を忘れて一生懸命に取り組んでいる自分がありました。何不自由のない便利な世の中で忘れかけていた原点や心を思い出すことができ、非常に貴重な時間であったと実感しています。行事への参加を通して、各委員の方々との交流から私の知らない世界が少しずつ開けていきました。この経験を生かし、微力ながら地域に貢献していけるよう努力していきたいと思えます。

菱田 郁子

ふと、青少年委員をなぜ引き受けたのかと思えます。前任者の「勉強になるから」の一言、だったのかもしれませんが、生来、不勉強のせい或未だにこの「勉強」という言葉に弱いのです。お店番があったり、両親の介護があったりと、PTA活動もほとんどしていない私は、経験豊富で貫禄十分の委員の皆さんの中で躓いていたような気がします。青少年委員の曖昧模糊の立場も痛感しました。それでも、園長・小学校校長・中学校校長・区長との各懇談会や「成人の日のつどい」に関われたのは有意義でした。

また、色々な研修会に参加して子供達のことを真剣に考えている大人の集団（各区の青少年委員会）の存在も知ることができました。そして、学校の行事で元氣一杯の子供達に会えたり、成長著しい姿を目にして喜びを感じました。

二期目になります。これからも青少年を応援し、微力ながらお手伝いをしたいと思えます。よろしく願っています。

藤代 興里

一期目と同様、九段中学校の島川校長先生から依頼の連絡を頂き、再度青少年委員を務めることになりました。千代田区立中学校では、今年度からの週五日制の完全実施に加え、来年度からの学区の廃止、更に四年後に実施が計画されている区立の中高一貫校の設立という、国・区・都という異なる組織での三つの変革が絡み合ってきています。

この内、都に関する内容は区の青少年委員には充分伝わらないため、先日都庁まで行ってきました。頂いた資料に、千代田区の中高一貫校と全く同時期に都立の中高一貫校の創立計画があることは、大きな驚きでした。加えて、その直後に都立の中高一貫校を更に九校も設立する計画が発表され、これはもう考えを組み直すべきではと感じているところだと思います。いずれにしても、都立と区立の中高一貫校は、どこが同じでどこが違うのかという大切なことを判断し、すべてに関わり込みを迫られている九段中学校が「内容を理解したうえで、最善の展開を計る。」ことは簡単ではありません。避けるべきは、「知らなかった。こんなはずではなかった。」と後で感じる事です。

藤原 晶子

親子で九段中・九段高と御世話になった深い思い入れを持つ一人として、学校とは勿論PTAや同窓会とも連携しながら、二期目のこの一番の課題に対応したいと考えています。

「成人の日のつどい」に、子供が実行委員として参加し、その時初めて青少年委員の存在を知りました。そんな私に委員として推薦の電話があり、行事の内容もわからぬまま引き受けてしまい、一期二年が過ぎました。振り返ってみての感想は、青少年委員としての活動以外に、委員としてコミュニケーション、スクール、学校運営委員会、校庭開放委員会と次々に仕事が増えられ、これは推薦を受けた時の話とはずいぶん違うなあと感じました。しかし、久しく離れていた現場の声・様子が良くわかり、思わぬ副産物をいただいた良い経験が出来たとも思えます。

第二期目に入っても、また仕事の量が増え、少しは期待しています。

角谷 宏次

最近、携帯電話・メール・インターネット等の急速なITの発達で直接的に人と交わる機会が減り、地域社会での連携もめっきり少なくなりましたといわれています。

私自身が、子供が何か悪い事をしたら見知らぬ大人でも叱りつけてくれるような時代に育った人間ですので、特に寂しく思います。しかし、このような現状においても私達の学校や地域では、子供の日・少年野球・ミニバスケット・お囃子・太鼓等々活動し、子供達との触れ合いがいろいろあります。未成年の犯罪が増えたといわれる昨今、この様に学校と地域の交流を深めてこそ、地域活性化はもとより子供達の犯罪防止に大いに貢献しているのも事実です。私も青少年委員という立場から、微力ですが学校と地域社会を結ぶ「かけはし」役の一員になれば幸いです。皆様の温かいご指導を頂き、活動していきたいと思えますので、よろしく願っています。

金井 茂

青少年委員の役割は、就任してきてなんとなく分かったつもりでした。しかし、実際の活動となるとなかなか難しいと感じた二年間でした。と言いますのは、かなり抽象的な目標に対する具体的な活動が自分の頭の中で明確になつていなかったからです。ところが、会長をはじめ先輩委員の皆さんの真剣に取り組んでいる姿勢をみていて、だんだん分かってきたことがあります。

青少年委員は、会として個人として実践できることはそれほど多くないかもしれませんが、常に真面目に努力した過程から何かしらの結果を求められています。地域の子どもたちを見守る目線として、結果も大事ですが過程はもっと大切なことを、機会あるごとに知らせてあげたいと思うようになりました。良い観客が良い芸術家を育て、良い選挙民が良い政治を育てると言いますが、私も学校や子どもたちの良いサポーターとしてありたいと思えます。

青少年委員を

よろしく願っています。

〓ごみ拾いボランティアに参加して〓

会長 久保田 富三郎

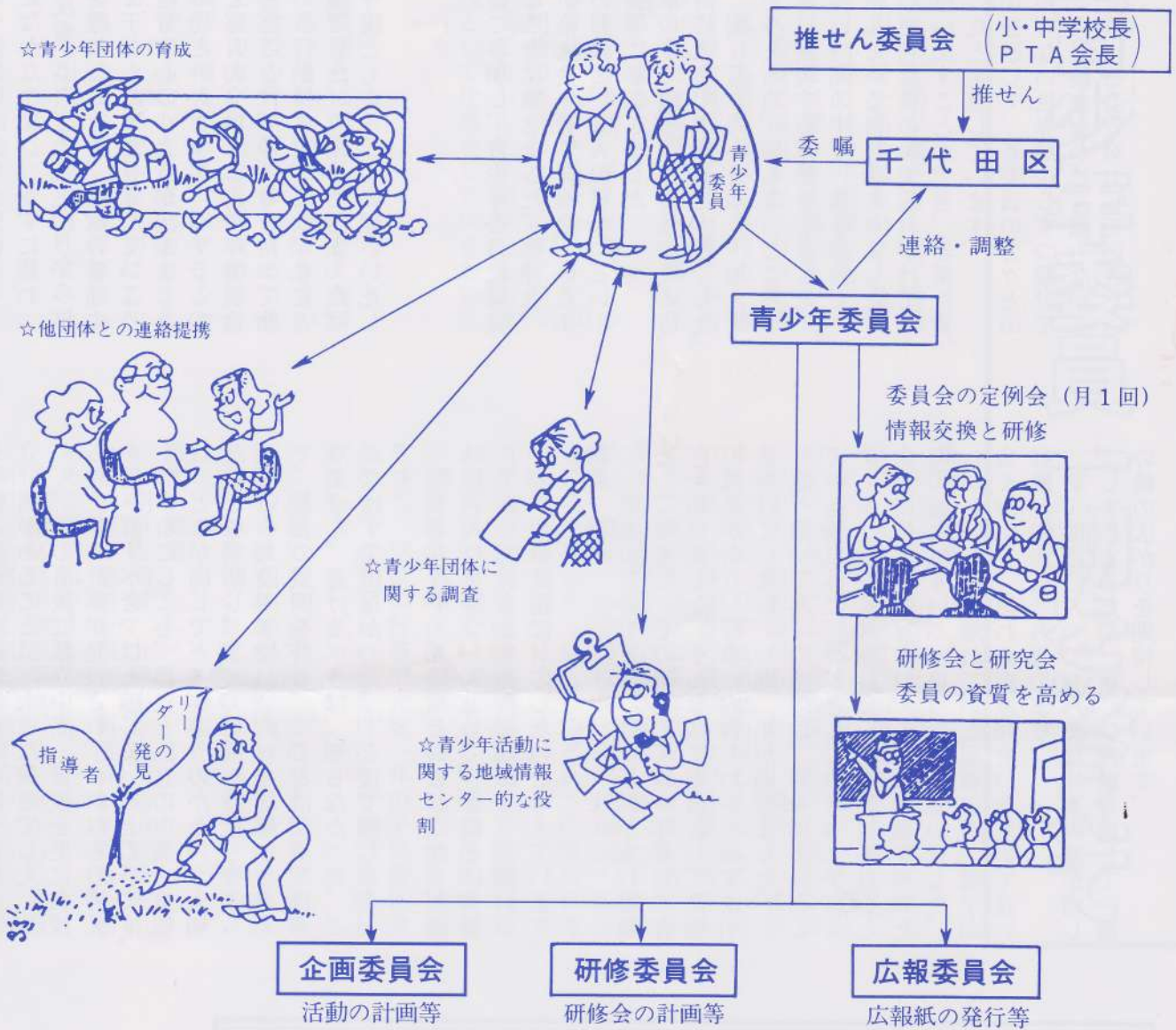
六月の一斉清掃の日、地元の中学校の奉仕活動で多くの生徒の皆さんと秋葉原電気街のごみ拾いのボランティアに参加してみました。手に手にごみ袋、清掃用具を持ち、町会から借りたりヤカーを引く者、街路樹の根もとに散らかるタバコの吸い殻を一つも残すまいと素手でつまんで集める子もいました。

地域の方も自分の家の前を掃除する手を休めて、子供達に励ましの声をかけてくれました。タバコの吸い殻をはじめ様々なごみが集まり、人々にマナーを呼びかけるだけではどうにもならない所まで来てしまっています。千代田区の「ポイ捨て」「歩行喫煙」条例の制定もやむを得ないと感じた朝でした。

私たち青少年委員会は、今年からスタートした「こども園」をテーマに研修を始めました。新しい試みにエールを送るとともに、現場での子供の様子、保護者や先生方の声を聞き、色々な角度から考えてみたいと思っています。今後とも青少年委員会への御助言等をよろしく願っています。

青少年委員の役割

青少年活動を援助する地域の有志活動家でありグループワーカーである。また、各地域における青少年の諸活動の横の連携をとる中心的な役割にあたる。



青少年委員の活動と役割

青少年委員は、青少年活動を援助する地域の有志活動家です。その活動は、団体指導者ではなく青少年活動を外側から見守り、活動の促進に必要な援助を通して、青少年の自主的向上をお手伝いすることにあります。

また、地域における青少年活動の横の連携をとる中心的な役割にあたる連絡調整者であるとともに、行政との連絡調整をはかるパイプ役でもあります。

- 具体的職務は、
- 一、青少年団体の育成 (実践的な指導)
 - 二、指導者の援助と養成 (リーダーの発見と育成)
 - 三、他団体との連絡提携 (交流の促進)
 - 四、施設の情報提供
 - 五、環境の整備

以上

「あなたは千代田区の青少年委員を
ご存じですか」 第十号

発行 千代田区青少年委員会
編集 広報委員会
事務局 千代田区立
児童・家庭支援センター
電話五二一五―九〇六二